

LPGタンクに関するQ&A（よくある質問）

Q. 容器記号〇〇〇は製造できますか？

A. 中央精機で製造可能なLPG容器は資料の通りです。

[資料（LPG容器ラインナップ）](#)

Q. フォークリフト容器の充てんができません。充てん方法を教えてください。

A. 過充てん防止弁付きの容器は、横置きで「上」文字を上側にして充てんを行ってください。

[資料（充てん方法）](#)

Q. LPG容器の充てん期限（再検査の期限）を教えてください。

A. ・フォークリフト用LPG容器（溶接容器）

容器製造後の経過年数20年未満のものは5年、経過年数20年以上のものは2年。

・自動車用LPG容器（溶接容器）

容器製造後の経過年数20年未満のものは6年、経過年数20年以上のものは2年。

但し、車検の有効期限が1年の自動車に装着された容器が、最初に受ける

容器再検査については6年を経過して最初に受ける車検の期間までを

容器再検査期間とすることが出来ます。

[資料（再検査期限）](#)

Q. コンフォート用容器 WMEをWMYと取り替えて車両に取り付けることは可能ですか？互換性はありますか？

A. 取り替えはできず、互換性はありません。

WMEとWMYはセンダーゲージ（液面計）の仕様が異なります。詳しくは 2.LPGタンクの再検査時の流れについての「コンフォート用LPGタンクのセンダーゲージ変更について（お知らせ）」をご確認ください。

Q. JPN-TAXI用容器 WHLをWHVと取り替えて車両に取り付けることは可能ですか？互換性はありますか？

A. 取り替えはできず、互換性はありません。

新型車（2025年6月からの生産車両）用が WHL

旧型車（2025年5月までの生産車両）用が WHV となっております。

Q. JPN-TAXI用容器 WHV、WHLの再検査の要領を教えてください。

A. 耐圧試験は圧力3.8MPaで実施してください。

部品の取付、取外はWME（コンフォート用）の要領を参照ください。

基本的な部品構成は同じです。